

ユニバーサルビクニック
**ときめき
 フェスタ福岡
 2008**

**障がいのある人も
 ない人も
 一緒に**
 10/19(日)
 10:00~16:00



(上) みんなの絵が旗になって会場を飾ります
 (右) 毎年大人気のバザー (下) 障がい者ステージ。歌にダンス、練習も本番も楽しいね



この日に向けてダンスや歌などの練習を積み重ねてきた成果を発表します。出演するのは障がい者団体「未来駅 愛」ひまわり園「DM企画」「自閉症児者親の会」「ダンス2001」フックショップたち

みんなの絵で会場をディスプレイ
 10月上旬に福祉関係の人たちが市内の小学校2校を訪問する「ときめき小学校キャラバン」。手話やバリアフリーの工夫などについて児童が学びます。このキャラバンで児童たちが1枚ずつ描いた絵や、各障がい者施設の人たちが描いた絵を旗に見立て会場内を色鮮やかに飾ります(写真左上)。みんなの思いが会場を包み込みます。

オリジナル商品のバザー・フードコーナー
 障がい者施設の人たちが作る雑貨やクッキーなどの商品を販売します。

みんな楽しんでもう障がい者ステージ
 この日に向けてダンスや歌などの練習を積み重ねてきた成果を発表します。出演するのは障がい者団体「未来駅 愛」ひまわり園「DM企画」「自閉症児者親の会」「ダンス2001」フックショップたち

みんなの絵を描こうアートワークショップ
 親族に障がい者がいたことをきっかけに福祉活動をしている長崎出身のアーティスト・K.A.D.O氏と一緒に、大きな1枚の絵を皆で思い思いに描いていきます。誰でも参加できます。完成した絵は、会場内ステージ付近に展示します。(午前11時~午後1時半)

【問合せ先】
 ときめきフェスタ実行委員会(社会参加推進課) 711-4881⑦733-5150⑧7 メールshakaisanka.PHWB@city.fukuoka.lg.jp)

10月19日(日)に市役所西側ふれあい広場で「ときめきフェスタ福岡」を開催します。副題の「ユニバーサルビクニック」が示すように、障がいのある人とない人が気軽に触れ合い交流できる場です。18回目を迎える今回のテーマは「繋がる」。施設、企業、学校、行政、市民が連携し、イベントを創り上げます。誰でも楽しく参加できるコーナーを用意していますので、気軽に足を運んでみませんか。

今回は福祉施設の商品などを紹介する地元の季刊誌「ariya.(アリヤ)」500円、福岡金文堂ほかで販売」と、地元デザイナーたちが構成する福岡デザインリーグの協力のもと、商品のパッケージやPR方法など、障がい者施設が普段抱えている問題を解決するワークショップを行い、商品を開発しています。どんな商品が披露されるかは当日のお楽しみ。各ブースではこのほか、障がい者施設の人たちが作った陶器や木工品なども販売します。

思ったより難しい? ブラインドサッカー体験
 うまくボールを蹴られるかな

な」の皆さんです。出演者と観客が一体となってステージを盛り上げます。(午前11時~午後1時)

環境フェスティバル 2008
 10/25(土)・26(日)
 10:00~16:00

私のチャレンジ宣言・クイズラリー
 「めざせ一人1日1キログラムCO₂(二酸化炭素)削減」を目標に、CO₂削減項目を確認する「私のチャレンジ宣言」をするとエコグッズがもらえます。自分らしいやり方でCO₂削減に取り組みしましょう。また、クイズラリーに挑戦すると「環境やくそく缶バッチ」をプレゼント。バッチを付けてエコライフを送りましょう。

いろいろな催しも楽しんで
 メンステージでは、リフォームファッションショーやギターコンサートなど多彩な催しがあるほか、午後1時半ごろから天神地区でマイバッグ配布キャンペーンも行います。

子どもたちに大人気 子どももくるくる村
 「子どもくるくる村」の役場で住民登録をして仕事をすると、ここだけで使えるエコマネーで給料をもらえ、村のスーパーなどで買い物ができます。社会の仕事を楽しんで体験することができます。(対象は4歳~小学生)

見てみよう乗ってみよう エコカー展示・試乗会
 電気自動車など7メーカーのエコカーを展示します。体験試乗会も開催。最先端の技術を駆使したエコカーに触れてみませんか。

【問合せ先】
 環境フェスティバルふくおか2008実行委員会(環境啓発課) 733-5381⑦733-5592 ホームページhttp://kankyo.city.fukuoka.lg.jp/festival2008/)



エコマネーは貯まったかな

「天神の市役所西側ふれあい広場は私たちにとって最高の大舞台です。もし使わせてもらえたら本当にうれしい」。きっかけは佐賀県武雄市長の一言でした。九州全体を見渡してもアピール力は随一です。検討に1年近くかかりましたが、ほかの自治体にも「広場解放」することにしました。すでに9月は2回実施し、11月23日(祝)、24日(休)は言い出しっぺを含む「武雄・湯布院・杖立 九州三

「足湯比べはダメかな」と私。返事は「寒いので指湯でどう?」。やりとりからぬくもってきそうです。

福岡市長 吉田 宏

聞きたかけん 第10回
 平成20年度

南区高宮のアミカスで「カウンセラーグループアミー」の皆さんと「子ども」をテーマに懇談しました。「スクールカウンセラー」(※)はもともと生徒とコミュニケーションを取り合う存在になって、「学校に臨床心理士だけでなく、心理カウンセラーを配置し、連携していく環境が必要」。「保育園に心理カウンセラーがいれば、親の悩みを軽くすることが出来る」などの意見が出されました。懇談を通じて市長は「行政としていろんな制度をつくっても、それが十分に機能しているかという本質的な問題が浮かび上がった。心と心の問題は制度だけでは

は解決しない。多くの人が抱える不安に、問題意識を持って向き合うことが必要」と語りました。 ※各中学校等に配置されており、児童生徒と保護者の心の悩みについて臨床心理士等が専門的立場から支援を行っている。

【問合せ先】
 広聴課(☎711-4067⑦733-5580) メールkchoho.MO@city.fukuoka.lg.jp)

子どもや親が抱える悩みについて意見を交換